（日刊）第20787号　（昭和19年5月30日第三種郵便物認可）

日本証券新聞

Nihon Securities Journal since 1944, a member of JIA

2020年[令和２年] 11/25 水曜日（友引）

1カ月4,988円／1部240円

日経平均 26,165.59 +638.22(+2.50%)

日本証券新聞 Digital www.nsjournal.jp

今日の紙面
コロナ禍の年末商戦、ECがメインに……２面
新規上場紹介 オーケーエム、リベルタ……２面
ＩＰＯ社長会見 アララ ……２面
特報 東京ドームに アクティビストのオアシス介入…最終面

TOPIX週足3カ月(直近)

発行所©日本証券新聞社2020　〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町２－16－１　土曜・日曜・祝日は休刊　日本証券新聞 Facebook https://www.facebook.com/nsjournal　販売に関するお問い合わせ TEL 03-6661-9415　記事に関するお問い合わせ TEL 03-6661-9419（午前10時から正午まで）

どうなる「最良執行」の行方

投資家保護へ政省令見直しか

東証で売買が止まった10月1日の状況は、「残念ながら『取引所の代替』としては機能しなかった。ただがシェア数〝ゼロ〟は難しい」

――昨秋のPTS信用取引解禁が追い風となったはずだが、現在の市場シェアはどのくらいか。

「従来の約2%から3%台となり、1日当たり取扱金額が500億円に膨らんだとはいえ、規模としてはまだ全然少ない」

――「PTS信用を促すとした経報道は、金融商品取引法に関する政構成銘柄からTOPIX100を差し引いたMid400銘柄に限れば格の刻み幅が東証上の狙いの（0.1円など）点が強み。また個別銘柄では、なぜかトヨタのシェアが高い（13%程度）」

――「最良執行」や10%ルール」など制度的問題がPTS利用を阻害していると聞くが。

――「問題点を挙げれば枚挙にいとまがない

――「PTS利用を促省令を見直す」など妙に

――東証で売買が止まった10月1日の状況は。

――「残念ながら『取引所の代替』としては機能しなかった。ただがシェア数〝ゼロ〟は難しい」

――昨秋のPTS信用取引解禁が追い風となったはずだが、現在の市場シェアはどのくらいか。

「従来の約2%から3%台となり、1日当たり取扱金額が500億円に膨らんだとはいえ、規模としてはまだ全然少ない」

――「最良執行」や10%ルール」など制度的問題がPTS利用を阻害していると聞くが。

――「問題点を挙げれば枚挙にいとまがない

――「PTS利用を促すとした経報道は、金融商品取引法に関する政構成銘柄からTOPIX省令を見直す」など妙に

――投資家にとって最良の取引条件での売買執行を証券会社に課した「最良執行方針」は現状、どこに問題があるのか。

「金商法には最良執行方針を策定すべし、そして公表すべしとしか書かれておらず、何をもって最良執行とするかのガイドラインも一切ない。鶏と卵の議論ではないが、またPTSの存在しない取引所独占時代に書かれた最良執行方針には「PTSは利用しない」というものもあり、そうした状況がまだ至っている

――「金融庁の方にお会いするたびにしつこいほど意見を伝えているが、この件でヒアリングを受けたわけではないので分からない。報道が事実なら、10月発足の市場制度ワーキング・グループなどの審議会で議論されることになるのではないか」